

第2シード東北と実力校仙台商業の準々決勝は、序盤に機動力を生かし効果的に得点を重ねた東北が試合を制した。先制は東北。2回先頭の3番矢野が四球で出塁、盗塁と機動力で1死3塁とし、6番三浦の遊ゴロの間に本塁生還。3回も8番笠が四球で出塁し、9番鈴木の前安打で無死1・3塁、1死後に2番梅田の遊ゴロで本塁生還し2点目を挙げた。4回には2本の3塁打を含む3安打を集め、1死2塁野選なども絡み奪う3得点を挙げ試合の主導権を握った。一方の仙台商業は、4回先頭の4番神田、5番道下の連続安打と機動力で1死2・3塁とチャンスを広大すると、7番代打塩田の打球が東北内野守備のミスを誘い、2点を返した。7回にも代わった東北の投手狩野の立ち上がりで攻めた。連続四球と5番大久保の遊内野安打で1点を返し、なおも無死満塁としたが、5番道下が投前併殺打に倒れ万事休す。東北は5回にも5番佐藤良の遊ゴロの間に1点、7回には1死3塁から捕逸で1点を追加し、粘る仙台商業を突き放した。堅実な守備と、東北高校を上回る7安打を放って好機を演出した仙台商業であるが、機動力を生かし着実に得点を重ね、3投手の継投で反撃を抑え込んだ東北が準決勝進出を決めた。